

---

# GNN-360

# AMP

# DISCRIMINATOR

アンプ デスクリ

( Discriminator for Csi )

---

## 概説

このNIMモジュールは、高エネルギー物理学実験および素粒子実験用に開発されたものです。C S iからの信号を一旦ハイ・インピーダンスにて受けて、そのままスルー信号としてA D C回路等につなぐ為のコネクタを擁している。

回路構成は各々のチャンネルに入力された信号はディスクリ回路及びS U M回路で処理される。ディスクリ回路はA Cカップルされた入力信号を3 6 倍増幅しコンパレータで閾値の判断を行い、設定値より大きい信号の場合はディレイを通して後部のコネクタからE C L差動にて出力信号を出す。S U M回路は入力信号をバッファーを通して構成され× 1、× 1 0の増幅を行ったものを出力する。

( 入力信号のスレッシュホールド電圧および出力信号のパルス幅は、全チャンネル共通で調整 )



## 特徴

N I M 2 幅モジュール

入力部に分岐コネクタを備えてる

- 1 mV での波形閾値分別可能

ディスクリ出力はE C L 差動

0 ~ 7、8 ~ 1 5 チャンネル毎のサムアンプ ( × 1、× 1 0 )

---

---

## 入力/出力信号

入力信号 : ユニポーラ 0 ~ - 5 V  
入力保護回路有り  $\pm$  ( V S - 0 . 7 V )  
入力インピーダンス 1 0 k ( 但し、使用時は 5 0 )  
出力信号 : 差動 ECL 信号出力(リアパネル) 4 0 ピンコネクタ使用  
SUM出力信号 :  $\times 1$ 、 $\times 1 0$  の SUM 出力 ( 内部にオフセット調整付 )  
出力インピーダンス 5 0

## 仕様

チャンネル数 : 1 6 チャンネル  
スレッシュホールド  
電圧 : < - 1 mV  
フロントパネルにて調整可能 ( 全チャンネル共通 )  
モニター端子付  
出力信号幅 : 8 0 nsec ~ 2 5 0 nsec  
: フロントパネルにて調整可能 ( 全チャンネル共通 )  
くり返し周波数 : 最大 3 MHz  
入出力遅延時間 : 遅延素子 3 0 0 nsec 内蔵  
形状 : N I M 2 幅モジュール  
使用電源、電流 : + 6 V 1 A  
- 6 V 2 . 3 8 A  
計 2 0 . 2 8 W

---